



2022年6月1日、杉並区阿佐谷南に開設した「いたるクリニック」地域の皆様に在宅診療をお届けするため、梅澤謙一院長のもと、スタッフ一同邁進いたします

はじめに サポートウイズは、「高齢計画相談部門」「医療提供部門」「地域生活支援部門」「障害計画相談部門」の各事業を同一拠点に集約し、障害と高齢分野の相談からサービス計画作成までの連携、ケアマネジメン

方も多くいらつしやることでしよう。しかし今の訪問診療は今まで皆さんが思っていた医療とは大きく違い、ご希望される地域や生活の場において、病院とほとんど同じような治療を受けることが可能です。

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

在宅診療を地域に。医療連携を強化。令和4年6月、「いたるクリニック」開設しました。



目次 contents
01 在宅診療を地域に。医療連携を強化。令和4年6月、「いたるクリニック」開設しました。サポートウイズ マネジャー 塚田充昭
02 事業部からの情報発信・事業所通信
03 * あげぼの作業 * パン工房ブクブク * サポートウイズ * イタール成城 * SDGs推進室 * ビヨビヨおうちえん * 包括ケアセンター・グループホーム
04 すまいる高井戸・春山センター長、春の叙勲受章 令和4年度第2回職員研修 あさきたシルクロード お困りごと相談会

「いたる賛助会」では「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

朗報 社会福祉法人いたるセンターから、初の叙勲者！ すまいる高井戸・春山陽子センター長が瑞宝単光章を受章

令和4年度「春の叙勲」において、杉並区障害者地域相談支援センター高井戸(すまいる高井戸)の春山陽子センター長が「瑞宝単光章」を受章しました。春山さんは、昭和58年から一貫して障害者相談支援に従事し、東京都府中市、武蔵野市、杉並区において、障害者の地域生活が安全かつ安心して送れるよう尽力してきました。

社に包括的かつ多大な貢献を果たしてきました。さらに、杉並区地域自立支援協議会委員、小平市障害支援区分判定等審査会委員を歴任し、障害者の地域における自立支援を推進するとともに、障害者に対する差別解消や虐待防止に注力するなどの功績が認められ、この度の受章となりました。



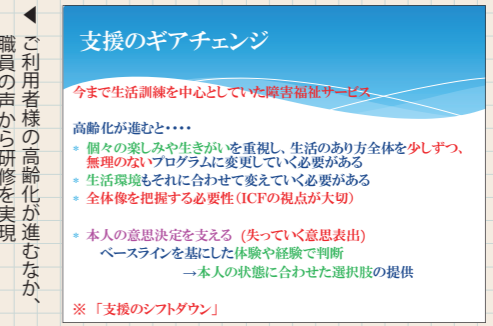
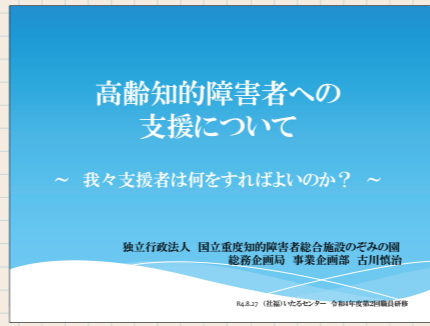
賞状を掲げる春山センター長 右上の勲章も合わせて授与されました

ピックアップいたる 令和4年度第2回職員研修、8月27日に開催。

国立重度知的障害者総合施設・のぞみの園の古川慎治氏をお招きし、『高齢知的障害者への支援』について学びました。

令和4年8月27日(土)、令和4年度第2回職員研修を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今回もZOOMによるリモート研修となりましたが、170名を超える常勤職員が参加。メイン講義の『高齢知的障害者への支援について』では、古川講師の障害者入所施設での豊富な支援経験から得た多くの知見を共有していただき

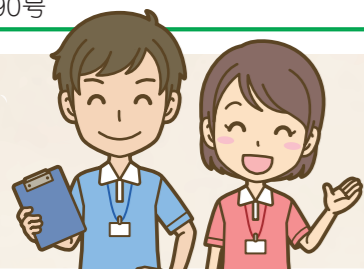
の意思決定を支えるための「ライフストーリーワーク(記憶の支援)」を理解し実践することなどがポイントとして挙げられました。各事業部の職員からは、それぞれのサービスにかかわる質疑応答も進められ、充実した専門性の高い研修となりました。



いたる広報委員 発行責任者=谷山 勝崇 社会福祉法人いたるセンター 〒167-0032 東京都杉並区天沼1-15-18 TEL: 03-3392-7346 FAX: 03-3391-8039 Eメール: info@itarucenter.com HP: http://www.itarucenter.com/ 発行日/2022年9月15日

いたるセンター・サポートウイズ事業部は、高齢者介護の「居宅介護支援」や障害者支援の「移動支援」「相談支援」、医療関連の「訪問診療」「訪問看護」などのサービスを提供し、地域の包括的な支援を行っています。こうした公益的な事業活動に加え、杉並区阿佐谷北地区では、高齢者のための「なんでも相談会」に参画し、スマートフォンの使用方法や健康相談、介護のことなどにお答えしています。





事業部からの情報発信・事業所通信

すまいる高井戸 センター長 春山 陽子

杉並区地域自立支援協議会計画部会では、今年10月～11月に令和4年障害者の地域生活に関する調査を実施する予定で、内容を話し合っています。第7期障害福祉計画（令和6～8年度）及び第3期障害児福祉計画（令和6～8年度）に向けて、障害のある方の生活やサービスの利用意向等を把握するためです。方法は、アンケート形式で、関係団体や事業所、無作為に抽出された方に郵送されます。アンケート記入にサポートが必要な方は、すまいるまで連絡をいただければご支援いたします。

ピヨピヨおうちえん（保育事業） マネジャー 大上 茂樹

例年になく暑い日の続く夏でしたが、保育園では子ども達の元気な声が響いていました。散歩に出られない日も多かったのですが、室内遊具での遊びや、水遊びを行って夏を楽しみました。

コロナ禍はまだ厳しい状況ですが、感染防止を徹底しながら職場体験やボランティアの受け入れを始めています。小学生から高校生までのお兄さんやお姉さんと触れ合うことは、新鮮な刺激になっていることと思います。

来年の入園希望者の見学も多くなっています。予約により一組ずつ園長から説明をさせていただきますが、どなたも真剣な眼差しで、園長の説明にも熱が入ってきます。

来年どんなお子さんが入園されるのか楽しみです。



サポートウイズ マネジャー 塚田 充昭

穏やかに秋が深まる今秋、皆様におかれましては、ますますご活躍のことと拝察しております。

この度、サポートウイズは総合相談支援センターとして医療と介護、相談支援の有機連携を軸にしたアウトリーチ業務の拡充のため、本年7月10日に世田谷区成城において、いたる訪問看護ステーションのサテライト事業所の届出をいたしました。

いたるクリニックも診療範囲として世田谷区を含んでいますので、より一層の医療サービスの充実が可能になると考えております。

今後もサポートウイズは、地域課題の解決に資するべく、在住・在勤・サービス事業者の連携を密にするような事業展開を思案していきます。

今後ともご愛顧のほど何卒宜しくお願いいたします。



あけぼの作業所 施設長 池田 佳津男

あけぼの作業所では杉並区が推進する農福連携事業に今年4月より参画させて頂き、毎週月曜日と木曜日に「すぎの農園」にてご利用様に「農作業」をして頂いています。

ご利用様は「すぎの農園」に行くことをとても楽しみにしており、農園では生き生きとした表情で作業に取り組んで頂いています。農園の職員の方々とはとても親切に接して頂けるだけでなく、ご利用様のことも良く理解して頂き、和気あいあいとした雰囲気の中で作業をさせて頂いています。

農園の職員の方々からは、参加している事業所の中で、あけぼの作業所の参加率（出席率）が一番高いと伺っています。

今迄にたくさんの枝豆やジャガイモ等を収穫させて頂きました。これからは大根やカブ等の冬野菜の栽培を行う予定です。



秋冬に向けて大根やカブを栽培



ご利用様による畑作り

阿佐谷福祉工房 施設長 齋藤 直人

植物油回収用トラックが新しくなりました。

阿佐谷福祉工房の就労継続支援B型事業部で植物性油の回収作業に使用していたトラックが、この度清水基金様からの補助を受け、新車に入れ替えることができました。このトラックは、毎日杉並区内の小中学校や保育園の給食室で使用した植物油を回収するために使用しています。回収している油はBDF（バイオディーゼル燃料）の原料となりディーゼル車等の燃料としてリサイクルされています。今まで使用していたトラックは十年以上の間、ご利用者様と作業を共にしてきました。新しいトラックもご利用者様と長いお付き合いになる事でしょう。これからも事故なく安全に走ってもらえたらと思っています。



リサイクルに貢献する廃油回収作業

包括ケアセンター・グループホーム事業部 ゼネラルマネジャー 白瀧 則男

グループホーム事業部に8月1日より新しくマネジャーとして水谷泰三さんが入職されました。水谷さんは大学の福祉系学部を卒業後、障害福祉畑を長年歩んでこられ、社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の三つの国家資格を取得し、介護支援専門員の資格もお持ちです。8月9月の2か月間は各ホームを廻り、夕方勤務を行いながら職員や入居者と対話して現在の問題点を探り改善に努めています。また、週1回は夜間勤務を行いグループホームの勤務状況などを把握してもらいながら、より良いグループホーム事業部づくりのために頑張っています。

今後とも応援よろしく申し上げます。

クローバー・マルコ 施設長代理 仙石 宏樹

クローバーではベテランの女性職員が8月より産休に入り職員が3名となりました。開設して以来初の職員体制であります。開所できる日にちが現行よりもさらに減ることが予測され、利用していただいている皆様には当分の間ご迷惑をおかけすることになります。現在、隣接事業所の職員の協力、およびパートスタッフの募集を行って開所日確保に努めております。このような職員体制も来年度の初頭までと考えておりますが、その間なるべくご利用者様の使いたいというご要望にお応えできるよう柔軟に対応してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

法人本部 事務局長 中島 學

法人本部では、今年度事業方針の主軸である「人材の採用・育成・定着に向けた取組の強化」を図ってきました。人員計画に基づく適切かつタイムリーな採用とオンボーディングの実施、入退職時のフォローアップも充実させています。また、職員の専門性を向上させる各種研修体系を強化し、現場で役に立つ実践的な知識の習得や、虐待防止・権利擁護の意識の向上を図ってきました。さらに、公認心理師による職員カウンセリングを実行中で、メンタルヘルス対策にも注力するなど、職員が働きやすい環境整備に努めてまいります。

目黒本町福祉工房 施設長 高木 知子

4月にあけぼの作業所より目黒本町福祉工房に異動になり、前半が過ぎようとしています。

生活介護30名、就労継続B型40名、分室7名、計77名のご利用者様で令和4年度はスタートしました。

5月に1名の新卒職員の入職、6月にのぞみ寮より1名異動、3名の中途入職者を迎え常勤・非常勤合わせて、52名で運営しております。未だコロナ禍ではありますが、自粛が緩和されつつあります。三密に注意してのレクリエーションを以前の規模に戻すことは難しいと思いますが、縮小しながら行っております。

7月に盆踊り、9月の本町まつりは、ご利用者様と午後からご家族を迎え小規模で行いました。まつりの週の1週間は、玄関前で屋上で収穫した野菜を販売しました。

12月に宿泊研修の代替で、昨年と同様に品川プリンスホテルで宴会場を貸し切り、ランチ会を予定しております。



実りの秋、目黒産の野菜を収穫販売

イタル成城 施設長 五木田 義之

本号では海外技能実習生を紹介いたします。今は技能実習生（※発展途上国への国際貢献が目的で研修生）ですが、今後は法人方針により特定技能（※労働力充足を目的とした一労働者）に立場が変わります。益々のご活躍を願い、次号にかけて書面の関係上各2名をご紹介します。

interview ①出身地 ②お国自慢 ③日本の良いところ ④将来の夢



コアさん | イタル成城（通所）配属

- ①ベトナム：ハイズオン市 ②バイン・ダウ・サイン（※緑豆菓子） ③静かで安全、公園がたくさんある ④ベトナムで理学療法士の資格を持っているのでリハビリ専門施設を創りたい



スーザンさん | パンプル配属

- ①フィリピン：ブトゥアン市 ②果実（ランソネス※外見は黄色いぶどう、中は甘いグレープフルーツ） ③世界一安全、子供の頃から知っていたから働くことを決めた ④日本に住み続けたい

*次号はハイさん（ベトナム出身）、レシルさん（フィリピン出身）をご紹介します。

SDGs推進室 統括リーダー 渡邊 菜都

当事業部は、顧客企業の三井不動産リアルティ株式会社様へ訪問し、障害のある社員（以下メンバー）へサポートを行っております。

三井不動産リアルティ株式会社様では、近隣に配属された新卒の社員を対象に障害者雇用について学ぶ研修を荻窪事務所実施。メンバーさんから新卒の社員さんへ、普段行っている封筒の押印、両面テープ貼り、レシートの仕分け、入力業務のレクチャーを行いました。

業務で気を付けるポイント、1日どのくらい業務出来るかなどお話しされ、普段の仕事の成果を発表できるとも良い機会となりました。

新卒の社員さんからは、「集中力のいる大変な仕事」「根気と責任感を持って仕事している事が伝わった」など様々な感想をいただきました。

パン工房プクプク 施設長代理 池田 史暢

本年度の事業部目標にて菓子製造を重点的に活動すること掲げ4月より半年が経ちました。現在ではその中のフィナンシェをパン製造の合間にご利用者様自ら計量・仕込・一部焼成・包装と工程をすべて任せています。

原料はよつ葉バター・青森産育み卵等、パン製造と同じように素材にこだわりながら丁寧な作業を心掛け製造しております。種類はプレーン・紅茶・チョコチップ・キャラメル4種類で今後も新製品を増やしていく予定です。

現在、高井戸区民センターと阿佐ヶ谷区民センターにも納品しており評判は上々です。



焼き立てのフィナンシェです